

まんまるはーと月形町



JA月形町

旬の新鮮情報

2007年5月号



5月のこよみ

(大) 皐月 (きつき)
早苗の植えつけをする月の意味です

- 1日【メーデー】国際的な労働者の祭典
- 3日【憲法記念日】日本国憲法の施行を記念する祝日
- 4日【みどりの日】
- 5日【こどもの日】端午の節句
- 13日【母の日】子供達が母の愛を褒め称え感謝する日
- 31日【世界禁煙デー】

今月の行事予定

18日 ・ 第4回 理事会



第59回 JA月形町通常総会開催

JA月形町の平成十八年度第五十九回通常総会が四月三日、月形町多目的研修センターにて開催されました。

当日は、出席者一三〇名・委任状二十九名・書面議決二十二名（出席率六〇・五％）が出席され、村瀬参事の開会宣言により開催されました。「JA綱領」を全員で朗唱後、柴田組合長より「昨年は、春の融雪の遅れと低温、日照不足と夏場の高温、干ばつと気象変動の影響を受けたが組合員の努力により平年作に近い作柄となり、米については道内の作況が二年続きの豊作となり道産米が良食味、低価格



議長を務める
札比内 沢田瞬一氏

であることで高い評価を得て好調な販売となった。しかしながら販売価格は依然として厳しい状況にあり、当JAにおいても、取扱に被害粒が多く製品率は前年度を下回り、残念な結果になったが、十九年度ガイドライン配分では三ランクから六ランクにランクアップとなり高い評価を得たことは組合員の理解と協力の成果」として、感謝を述べると共に昨年を振り返りました。

十九年度事業計画につきましては、振興計画の基本項目を実践の柱とし財務の健全化に取り組みとし、品目横断的経営安定対策、農地・水・環境保全向上対策などの政策が導入され、水田農業が大きな転換期を迎えた中で、組合員の所得向上へ向けた事業の推進に、理解と協力を求めました。

南中三JA組織強化研究会の進捗状況については、昨年夏の懇談会において合併検討委



員会への移行に理解を頂き、九月に三JA合併検討委員会を設立し、新JAプラン案を策定していたところですが、今後、協議を進める上で合併推進委員会に移行する必要があるとし、本総会において提案し承認を頂いた上で前進したいとし、理解を求め開会の挨拶としました。

続いて、櫻庭月形町長・福居月形町議会議長・石崎JA北海道中央会岩見沢支所長より来賓祝辞をいただき、議長には、札比内の沢田瞬一氏が選任され、提案された全議案が原案通り可決されました。

第33回 月形町農民連盟 通常総会開催



挨拶をする 渡辺委員長

月形町農民連盟（渡辺 祥紀委員長）の平成十八年度第三十三回定期総会が四月二日、月形町多目的研修センターにて開催されました。

総会では綱領唱和後、渡辺委員長から「農業を取り巻く環境が、依然として厳しい情勢

下の中で、日豪EPA交渉が開始されようとしており、麦、てん菜、乳製品等の関税が撤廃されれば、北海道経済に与える損失は約一兆四千億円に上るといふ試算も出ており、北海道経済が壊滅すると言っても過言ではありません。

米については関税が高いことから対日輸出は考えていないとされていますが、関税撤廃となれば輸出されることは十分想定され、そうなれば空知地方は壊滅的な打撃を受けることは必至であり月形町も例外ではありません。一方、国内情勢は、戦後農政の大転換で、本年からは経営所得安定対策が施行され、農業生産は担い手に農地集約しながらも、価格は市場で、所得は政策でという基本方針の下で品目横断的経営安定対策が導入されます。この新しい政策が「絵に描いた餅」にならない様、私たち農民連盟は常に検証し、行動しなければならぬと考えております。我々農民は人間の命の源である食料を生産



議長を務める 植松博幸氏

するため、日夜、血と汗のにじむ努力をしておりますが、農産物価格は生産費を下回り、負債償還の重圧に耐えながら回復を期待し努力しつつ、政府が農業者に対して希望が持てる営農を出来る様、今まで以上の支援策を望むものであります。その為に我々の様な農家自身が農家の目線でものを言う組織がさらに重要となつてくると考えており、さまざまな施策に対して良い悪いを問わず必ず声を発して行く事が重要なことと考えておりますので、皆様のご理解を賜りますよう御願いたします」と盟友各位の協力と支援により活動して参りたいとし、開会の挨拶を行いました。

続いて桜庭町長、柴田農協組合長、福居町議会議長、星野空知農民連合委員長、より祝辞が行われ、議長には南札二の植松 博幸氏が選任され、提案された議案全て原案通り可決されました。



エコファーマー 認定書交付式



家に認定書が手渡されました。
今回認定されたのは南札地区の明田修一さん、伊藤栄徳さん、植松博幸さん、内藤康志さん、米林信廣さん、岡 時夫さん、柳 彰憲さん、我妻 耕さん、米林博史さん、水口 裕行さん、多田正光さん、池上 基さん、吉川尚徳さん、山田啓一さんの十四名です。



四月十六日、北海道が推進し認定している「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画（エコファーマー）」の認定書交付式がJ A 月形町農協会議室において行われ、柴田組合長より認定された農



四月十日、農協会議室において、花き青年部の勉強会が開催されました。
講師に空知農業改良普及センターの 平門 普及員と、花・野菜技術センターの 林 栽培環境科長を招き、土壌診断結果を用いた施肥設計について講義が行われました。
講義の中で土壌の化学性・物理性についての説明や、土壌診断による肥料分の残量を考慮した効率的な施肥設計、各肥料分が作物に与える影響などについて、スライドを交えた説明により進行し、有意義な勉強会となりました。

花き生産組合 青年部勉強会



フォトニュース



4月26日 花き共同輸送 開始しました

水稲

今年も融雪がやや遅く心配な部分もありますが、今月の作業は、育苗の仕上げから移植までと、出来秋に大きく影響を与える大切な作業ばかりです。基本技術の励行で安定した稲作を進めましょう！

一、育苗は換気がポイント

育苗後半は、徒長防止と苗の硬化が大切です。高温管理を避け、苗を十分外気に慣らしましょう。早期異常出穂は出さないよう「ほしのゆめ」「ななつぼし」「大地の星」等の品種では注意が必要です。特に「大地の星」は、感温性が高く、状況によつては遮光資材を使用し温度の上昇を回避します。

表1. 育苗後半の要点

	1.5~3葉まで	3.1葉以上
苗の姿		
目標温度	20℃前後	18~20℃
換気の方法	晴天時は早朝から換気を行い、夕方はハウスを閉じる	暖かい日は昼夜全開にし移植前に外気にならす。低温時は、夜間ハウスを閉じる

(表一) 水管理は、温度の上昇と葉面からの蒸散により乾燥が進むため十分なかん水が必要です。

二、移植時期は葉数で決定

育苗日数は、中苗で三十~三十五日、成苗で三十五日程度(大地の星は三十日程度)を目安としますが最終的には、葉数を確認して移植しましょう。中苗では三・一葉、成苗では三・六葉を超えた時点で移植します。「大地の星」は三・一~三・五葉を目安にします) また、本田

での生育期間の確保のため、気象条件を考慮し五月十五~二十五日の間に移植を終わらせます。晩霜の影響なども無視出来ないため早すぎる移植も避けま

す。移植直後は水管理で苗を保護します(図一)。

三、移植精度が茎数確保の鍵

無理な作業は、欠株の増加や深植の原因となります。正しい移植深度(一・五~二・〇cm程度)を確保しましょう。また、初期茎数を安定して確保するために適正な栽植密度を守ります。(成苗二十~二十五株/m²、中苗二十五株以上/m²)

四、土壌にあつた施肥を

褐色低地土などの初期生育が良好で生育中期以降肥切れが予想される土壌では、全層施肥の比率を高くします。一方、グライ土、泥炭土など初期生育が悪いあるいは、中・後

表2. 全層及び、全層+側条窒素施肥例 (kg/10a)

適応地帯	主な土壌	ほしのゆめ・ななつぼし・きりぎりす397など			大地の星				
		目標収量 (kg/10a)	全層・側条割合	側条割合	目標収量 (kg/10a)	全層・側条割合	側条割合		
岩見沢市 三笠市 月形町	褐色低地土	510	7.5	3.5	4.0	570	9.5	5.5	4.0
	グライ土	510	7.0	3.0	4.0	570	9.0	5.0	4.0
	泥炭土	510	5.5	1.5	4.0	570	7.5	3.5	4.0
	台地土	480	6.5	2.5	4.0	540	8.5	4.5	4.0
美幌市	褐色低地土	540	8.0	4.5	3.5	600	10.0	6.5	3.5
	グライ土	540	7.5	4.0	3.5	600	9.5	6.0	3.5
	泥炭土	540	6.0	2.5	3.5	600	8.0	4.5	3.5
	台地土	510	7.0	4.0	3.0	570	9.5	6.0	3.0

注1. 各土壌、リン酸施肥量8~9kg/10a、加里施肥量8~9kg/10a
注2. 北海道施肥ガイドより加算

表1. ホクシンの生育期節

	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂		
				始	期	終
H17年	4/15	5/9	6/3	6/9	6/11	6/13
平年	4/11	5/3	5/26	6/3	6/5	6/7

(普及センター調べ)

表2. 秋まき小麦の主な除草剤

薬剤名	使用時期	10a当たり使用量	備考
エコパートフロアブル	春期広葉雑草2~4葉期(小麦上葉抽出前まで(但し収穫60日前まで))	50~75ml	展着剤は加用しない
MCPソーダ塩*	幼穂形成期(但し収穫60日前まで)	200~300g	日中気温が20℃以上の好天日を選び散布する。
アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	100~200ml	展着剤は加用しない

堆肥など有機物資材を春に施用するとタネバエによる被害を助長するので避けましょう。

二、わい化病の防除

わい化病はアブラムシが媒介する病害で、感染

表3. 大豆の種子消毒一覧

薬剤名	主な対象病害虫	使用時期	処理方法	10a当たり使用量
キヒゲン*	ハト・タネバエ	は種前	種子粉衣	乾燥種子重量の1%
粉衣用ペアーカスミン*	タネバエ・斑点細菌病・菌核病	は種前	種子粉衣	種子重量の0.3%

*キヒゲンを使用した場合、ペアーカスミン使用不可(いずれもチウラム剤のため)。

もしも、移植後に天候不順の場合は!



図1. 低温時の水管理

畑作

【秋まき小麦】

一、幼穂形成期後の分肥は起生期以降二回目の分肥は無効分げつが淘汰される幼穂形成期後十日から十四日頃に施用します(窒素成分で4kg/10aが目安)。また、止葉期以降の分肥を増大させますが、同時に子実タンパクを高めます。前年のタンパク値が基準値を超える場合、葉面散布の回数を減らしてタンパク値をコントロールしましょう。

二、赤さび病・赤かび病の防除「ホクシン」は赤さび病に弱い品種のため、高温乾燥年には止葉抽出期

頃の予防的防除が必要です。蔓延後の薬剤散布では効果が劣りますので、出穂後の赤かび病との同時防除で赤さび病の被害を最小限に抑えましょう。赤かび病の初回防除の目安は開花極始(平成十七年産管内平均六月十四日)ごろです。

三、除草

ハコベ(ナデシコ科)・イヌカミツレ(キク科)など広葉雑草の発生が目立っています。春期に使用できる除草剤は次の通りです。ただし、越冬した雑草には除草剤の効果が劣ります。

【大豆】

一、は種は種適期は地温が10℃以上になる五月中旬頃ですが、晩霜に注意する必要があります(平成十七年遅霜五月十四日・岩見沢測候所調べ)。

また、コンバイン収穫用に最下着莢位置を上げるため、1a当たりの栽植密度二万本以上二万五千本以下を目安に調整します。

すると草丈が極端に短くなったり、莢数が極端に少なくなり、減収します。生育初期に感染すると被害が大きくなるため、は種前・は種時の防除に茎葉散布を併用して被害を最小限に抑えましょう。アブラムシが飛来するピークは四月一日以降の積算平均気温で予測できます(積算平均温度四八〇℃・七二〇℃)。ほ場内を観察し、発生を確認してからの茎葉散布が効果的です。

表4. 大豆の栽植密度の目安

畦幅	株間	は種粒数	10a当たり栽植密度
66cm	15cm	2粒	2万本
	12cm		2万5千本
60cm	16cm	2粒	2万本
	13cm		2万5千本

表5. 積算気温480℃・720℃到達日

	480℃	720℃
H17年	5月27日	6月17日
平年	5月28日	6月14日

(岩見沢アメダス)

注) 防除は発生を確認してから実施。

野菜

【アスパラガス】

(露地栽培)

一、茎葉処理

前年の茎葉を整理し、ほ場から搬出するようにしましょう。特に斑点病や茎枯病などが発生したほ場では、できるだけ被害葉を残さないようにしましょう。

二、春肥

春肥は、直接春芽の収量には影響しませんが、収穫後の生育が良くなりますので、必ず全面に施用しましょう。

三、病害虫防除

収穫した若茎に曲がりや奇形が多い場合、地中や地際でヨトウムシ等の被害を受けていることが考えられます。このような場合は防除を実施しましょう。

【メロン】 定植後の管理

一、整枝

①誘引する子づるは、開花時期が揃うように、一〜三節の枝の中から太さ、長さの揃った二本を残し誘引します。

②着果節位までの孫づるの摘芯は、大きくなってから行くと、株の負担になるので、早め早めに行いましょう。

二、着果前後の温度管理

①花粉と雌花の充実が、着果に大きく影響します。開花七日前から最低温度を夜間十六℃以上に保ち充実をはかりま

②ミツバチは、ハウスの環境と花に慣れさせるため開花が始まったら早めに入

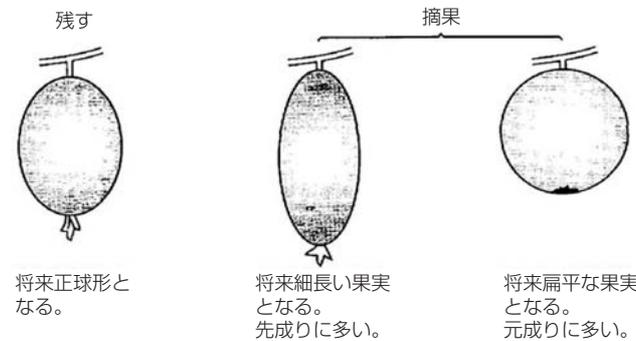
れます。温度管理、殺虫剤の散布には注意して下さい。

③開花中のかん水は、着果しづらくなるので、控えます。

三、摘果

開花七〜十日後、果実が鶏卵大になったら一株四果残して摘果します。同時に幼果の花弁や雄花を取り除き、菌核病の誘発を防止します。(図一参照)

図1. 摘果の目安



花き

一、花きほ場の土壌改良

①ほ場の土壌改良や施肥は、土壌診断に基づき実施します。新規作付けほ場で

は土土破砕、深耕により十分な作土層を確保するとともに、碎土性の向上を図ります。

②水田転作ほ場では明きよ・暗きよやハウス周辺の側溝設置、高畝栽培を行うなど、排水対策を徹底します。

二、施設花き類の管理

①加温作型の花き類は、各品目ごとに生育時期に応じた温度管理、養水分管理をきめ細かく行い計画出荷を図ります。

②無加温作型の切り花類は定植期に入るので、育苗後期の苗の順化を徹底します。また、定植および活着期の温度、水分の適正管理に努め、健全な初期生育の促進を図ります。

③鉢物・花壇用苗物は、春の需要期に合わせた出荷を図るため、仕上げの温度管理や肥培管理に留意します。また育苗中の春まき苗物は、晩霜害や低温障害を回避できるよう健苗を育成します。

三、宿根性花き類の管理

宿根性の花き類は、早めに枯れ葉等の除去を行い、株際の清掃に努めます。また、良品生産を図るために、適正本数に仕立てます。

四、球根花き類の管理

秋植え球根類、特にゆりの球根栽培は、萌芽期の施肥を遅れずに行い、出葉後は早目にウイルス病株の抜き取りと病害虫の防除を行います。春植え球根類は、生育初期の低温や晩霜害に弱いものが多いので、これらを回避するような作付計画のもとに、ほ場や球根の準備を適期に行ってから植え付けます。

平成19年度 堆肥供給単価の決定について

本年度の堆肥供給単価を下記の通り決定致しましたので、通知致します。

【堆肥単価】（消費税込み）

堆肥種類	供給単価 円/㎡ ①	循環型助成 円/㎡ ②	実質単価 円/㎡ ③=①-②	運賃 円/㎡ ④	合計単価 円/㎡ ⑤=③+④
完熟堆肥	2,709円	1,048円	1,661円	326円	1,987円
半熟堆肥	2,132円	1,048円	1,084円	326円	1,410円

(注) 2tダンプでの配送は運賃、円/㎡当たり788円(税込)となります。

助成内容 循環型クリーン農業助成として、10a当り1トン以上の堆肥を投入した水田を対象として、堆肥購入トン数に1トン当り2,000円を上限として助成します。(平成18年度産地づくり交付金助成内容同様)
注) 施工前・施工後の写真撮りが必要。

農業用プラスチック(ビニール他)の処理方法について

受入期間 平成19年5月1日～平成19年10月31日まで

受入場所 月形町衛生センター内堆積場所(月ヶ岡)

受入時間 午前9時から午後5時まで(変更となる事があります。)

但し、毎月第1・第3・第5日曜日は衛生センター休業の為受入は出来ません。

受入料金 (昨年度同額・運賃・税込み)

ビニール類(農ビ) 27円/kg

プラスチック類(農ポリ・肥料袋・ポットバチ等) 32円/kg

フレコン 126円/kg

塩ビ管(灌水パイプ等) 57円/kg

育苗箱類(プラグトレー等) 32円/kg

農薬容器類(受入日・場所を別途通知します。) 32円/kg

その他 (1) 受入料金案内、最終精算等についてはJAが担当致します。

(2) センターでの手続きは従来と変更はありません。

(3) 受入料金は受入期間終了後に請求致します。

(4) 搬入に際しては、ビニール・農ポリ・フレコンバック等は50kg以内、肥料空袋は30kg以内、水稻育苗箱は10枚以内とし、飛散しないようにしてください。

●注意 汚れのひどい物、梱包状態の悪いものについては、受入を拒否する場合があります。
また、梱包は十文字にしっかりと縛って下さい。縛りのゆるいものについては、その場で縛りなおしていただきます。

農ビ・農ポリの区分けをして、梱包してください。(農ポリは、ライターで30秒あぶると燃焼します。)

農薬容器の回収は別途通知しますので、衛生センターへは搬入しないでください。

理事会だより

臨時理事会議案

(四月三日開催)

議案第一号 平成十九年度
事業報酬の決定について

第二回理事会議案

(四月二十四日開催)

報告第一号 平成十九年 三月
末現在組合員の動向について
報告第二号 平成十九年 三月
末現在財務状況について
報告第三号 平成十九年 三月
末現在事業計画・実績対比に
ついて
報告第四号 ゴールデンウィークの業務対応について
報告第五号 不祥事再発防止策
取組状況の報告(三月末)に
ついて
報告第六号 平成十八年度事業
農協経営分析結果について
報告第七号 果菜集出荷場隣接
地の宅地取得について
報告第八号 理事に対する共済
担保貸付について

報告第九号 貸出業務事務手続
(貸出要領)一部改正及び修正
と追加について
報告第十号 金利設定会議要領
の一部改正について

議案第一号 行政庁に提出する
業務報告書及び連結業務報告
書について
議案第二号 職員道外研修旅行
の実施について
議案第三号 給与規程 諸手当
支給表の一部改正について
議案第四号 組合員に対するク
ミカン取引に係る理事の連帯
保証人の承認について
議案第五号 出資金持分減口の
承認について

ホクレン スタンド情報

ハイオク	144	円/l(税込み)
レギュラー	134	円/l(税込み)
軽油	114	円/l(税込み)
灯油	79	円/l(税込み)

(5月10日現在)

農民連盟の活動

去る、4月9日に拡大執行委員会が開催され、本年度の各分野における対策が決定されましたので、このJ A広報誌を通じて数回に分けてお知らせしたいと思います。当農連も積極的に農政活動を展開します。本年度の対策目標は次のとおりです。

- 酪農畜産対策について
 - ・日豪EPA交渉、WTO農業交渉への対策運動の展開
 - ・国内酪農・畜産の持続的発展が図られる国境措置・国内支持の確保やEPA交渉での例外扱いなど関税撤廃絶対防止、WTO日本提案の実現に向けた取り組みの推進
 - ・酪農・畜産基本政策の確立
- ・多様な担い手の確保と自給率向上に向けた総合的な施策の推進と財源確保を要求し、酪農飼料基盤拡大推進事業を直接支払制度としての位置付け強化など働きかけを行います。
- ・酪農・畜産経営の安定対策
 - ・チーズ増産に伴うプール乳価安定対策など生乳共販対策等を推進
 - ・20年度概算要求及び価格政策提言事項の検討や地域課題の対策等
- 農地・水・環境保全向上対策について

・北海道における共同活動支援交付金に係る特認要件に関する地方裁量としての素案が検討されている中で、地域の実情をより反映すべく活動を展開します。

次回、日本農業・地域経済社会等に大きな打撃を与える「EPA及びWTO対策」の重要な課題や米対策についての活動目標をお知らせします。

こんにちは農民連盟 4月

- 2日・月形町農民連盟第33定期総会
常任委員
- 3日・J A月形町通常総会
委員長
- 4日・農作業労賃・機械利用料金設定会議
委員長
四役
- 9日・拡大執行委員会
・南空知農民組織連絡協議会定期総会
四役
- 17日・盟友 上葛泰隆さん家族葬儀参列
副委員長
- 18日・月形町水田農業推進協議会幹事会
書記長
・月形町農業改良協会幹事会
書記長
- 19日・EPA・農業ワーキンググループ
打電行動
- 23日・月形町水田農業推進協議会監査
委員長
- 25日 月形町水田農業推進協議会総会
委員長・書記長
・月形町農業改良協会総会
委員長・書記長
- 30日・盟友 山崎庄蔵さん 家族葬儀参列
委員長他
・盟友 児玉金雄さん 家族葬儀参列
委員長他

農協文庫 5月号 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。
買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

野菜をおいしく アイデア漬けもの
ホークス みよし 著
旬の野菜で作る漬けものレシピ集。定番の漬けものから、変わり種のズッキーニやゴーヤなどを使ったアイデア漬けもの、ヨーグルトやサワークリームなどと漬ける新感覚の漬けものまで、100点以上を紹介しします。

ゆがみを正して若返る もどし体操でからだ革命
宮田 トオル 編
体を伸ばすストレッチ体操とは逆に、体を縮めて体のゆがみを正して血行をよくする「もどし体操」を紹介します。予防医学の観点から編み出された体操は、仕事の合間に取り組める簡単なものばかりです。

野崎洋光の 野菜料理帳
野崎 洋光 著
「和食の達人」として、テレビや雑誌に引っぱりだこの著者が、野菜の持ち味を生かした家庭料理を紹介しします。だしや動物性タンパク質のうまみとは違う、旬の野菜のうまみを引き出すためのコツを解説しします。

食べ方上手は生き方上手。親たちに学ぶ食の底力。笑ってごはん
50カラット会議 編
高齢の方やヘルパーのための60歳からの食事づくりの指南書。豊かな食生活は老後の楽しみと健康維持には書かせません。メニューは、高齢者の要望を受け、食べやすさや作りやすさへの工夫が満載です。

人に愛される気品のマナー100
渡辺 みどり 著
テレビ局勤務を経て、現在は大学客員教授として活躍中の著者がまとめた、女性として、一社会人として身につけておきたい魅力アップを目的としたマナー集。長年の皇室取材で培ったマナーも随所に紹介しします。

野菜を育てて学ぶ 食育実践BOOK
川上 一郎 著
食育をすすめるさいに最適な実践マニュアル。野菜づくりを軸とした“五感で覚える食農教育”を提案しします。野菜の栽培方法や食べ方のほか、性質や働き、野菜にまつわる豆知識なども併せて紹介しします。

発行所 J A 月形町 発行責任者/代表理事組合長 柴田 悟